



地域の防犯活動について —特殊詐欺と虐待を中心に—

西宮市防犯講演会
2015年11月16日
プレホール



- 1 大阪市で2010年に発生した虐待による2児殺人事件
- 2 振り込め詐欺の現状と対策
犯罪心理学検定を交えながら・・・

マスコミの報道では「最近、犯罪はますます、凶悪になり、巧妙化して、件数も大幅に増えている」というけれど

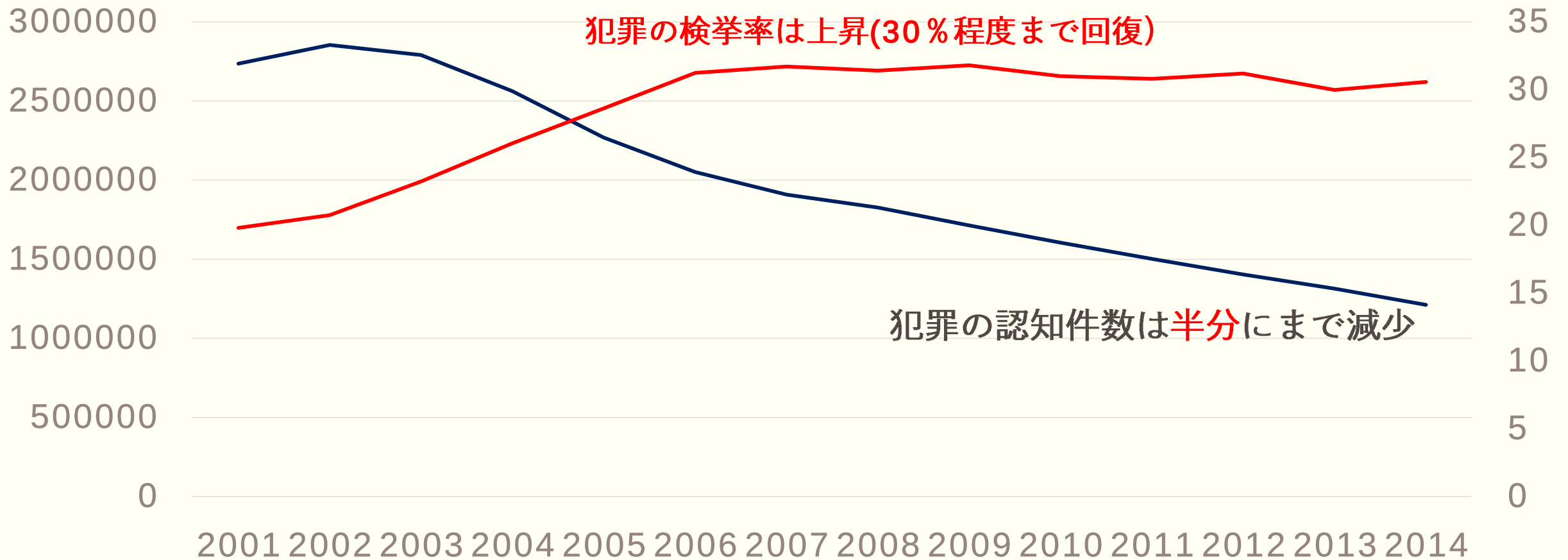
- 実際に犯罪は増えているのか？

■犯罪心理学検定2015年版(お手元の配付資料)

第1問 最近、犯罪は、10年前に比べて

- A 2倍以上増えている
- B 若干、増えている
- C 半分以下に、減っている
- D 若干、減っている
- E 増えても減ってもいない？

犯罪の認知件数(紺) と犯罪の検挙率(赤)



認知件数は**2002年の285万件が最高で、**
2003年から減少 2014年は121万件まで減る**(半減)**
検挙率は**2001年の最悪(20%以下)** から**30%台を維持(10p**

第1問 最近、犯罪は、10年前に比べて

A 2倍以上増えている

B 若干、増えている

C 半分以下に、減っている

D 若干、減っている

E 増えても減ってもいない？

正解はC

一般刑法犯の検挙率 30%ということは
犯罪者の3人にひとりしか捕まっていない
それで治安がいいといえるの？
それで大丈夫なの？
脅迫犯の検挙率も同じくらいなの？

犯罪心理学検定 第2問

一般刑法犯の検挙率は、約30%だが、
2013年の殺人事件の検挙率は？

- | | | |
|---|--------------|--------|
| A | 一般刑法犯より悪い | 18.4% |
| B | 一般刑法犯と同じくらいの | 32.9% |
| C | 一般刑法犯の2倍の | 60.5% |
| D | 一般刑法犯の3倍の | 93.8% |
| E | それ以上の | 101.3% |

殺人事件の発生件数と検挙率

年次 区分	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
認知件数 (件)	1,419	1,392	1,309	1,199	1,301	1,096	1,067	1,052	1,032	938
検挙率 (%)	94.6	96.6	96.8	96.5	95.1	98.0	96.4	97.8	93.3	101.3

10年間の殺人の検挙率は、最低でも93%以上
2013年度は 101.3%

検挙率が100%をこえたからくり

- 2013年に発生した殺人事件がすべて検挙されたとする
→検挙率 1 0 0 %
- ところが、2012年に発生して、
2012年には逮捕されなかった犯人が、
2013年になってから、逮捕されたら
→検挙率は100%を超える

犯罪心理学検定 第2問

一般刑法犯の検挙率は30%だが、

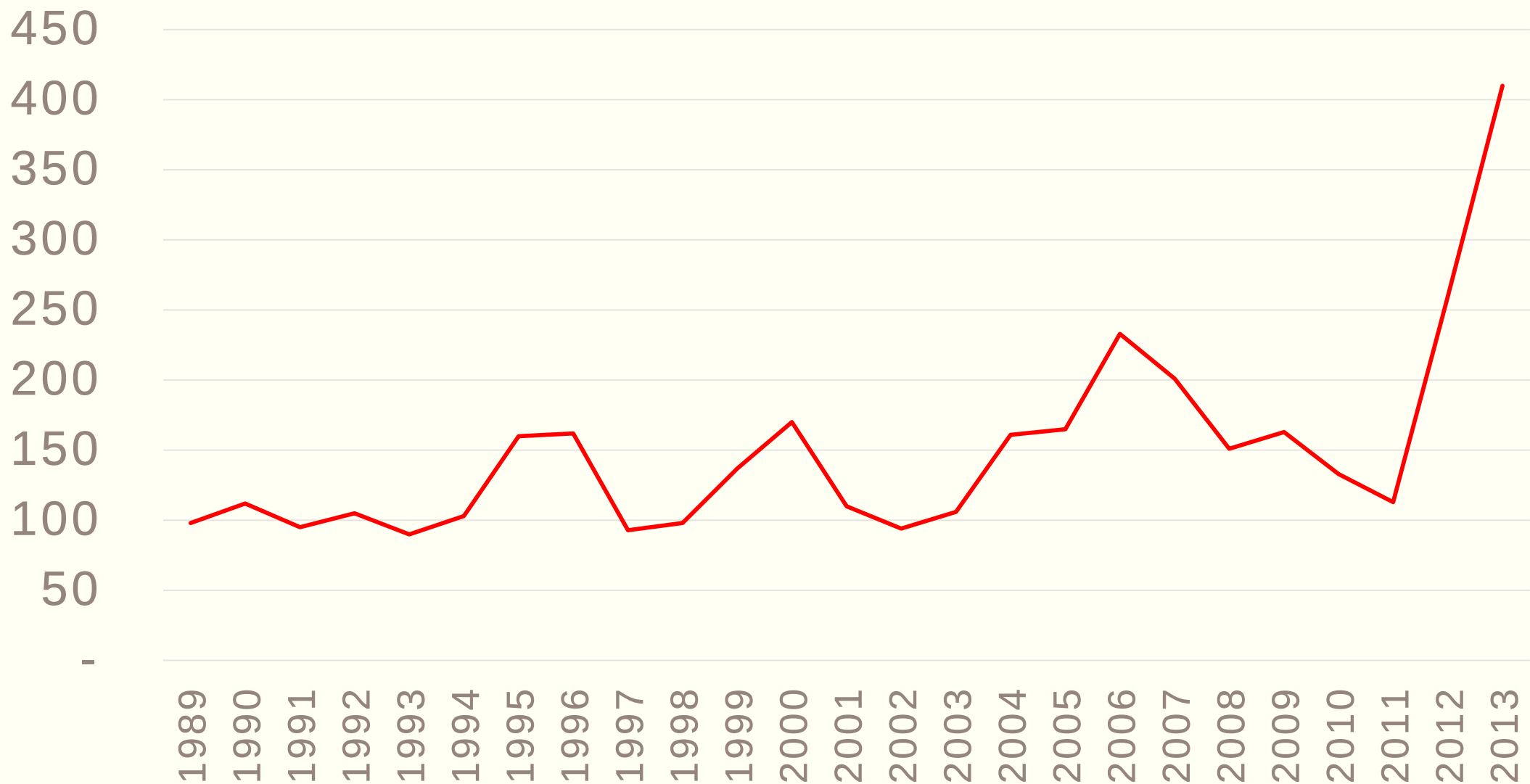
2013年の殺人事件の検挙率は？

- | | | |
|---|--------------|--------|
| A | 一般刑法犯より悪いの | 18.4% |
| B | 一般刑法犯と同じくらいの | 32.9% |
| C | 一般刑法犯の2倍の | 60.5% |
| D | 一般刑法犯の3倍の | 93.8% |
| E | それ以上の | 101.3% |

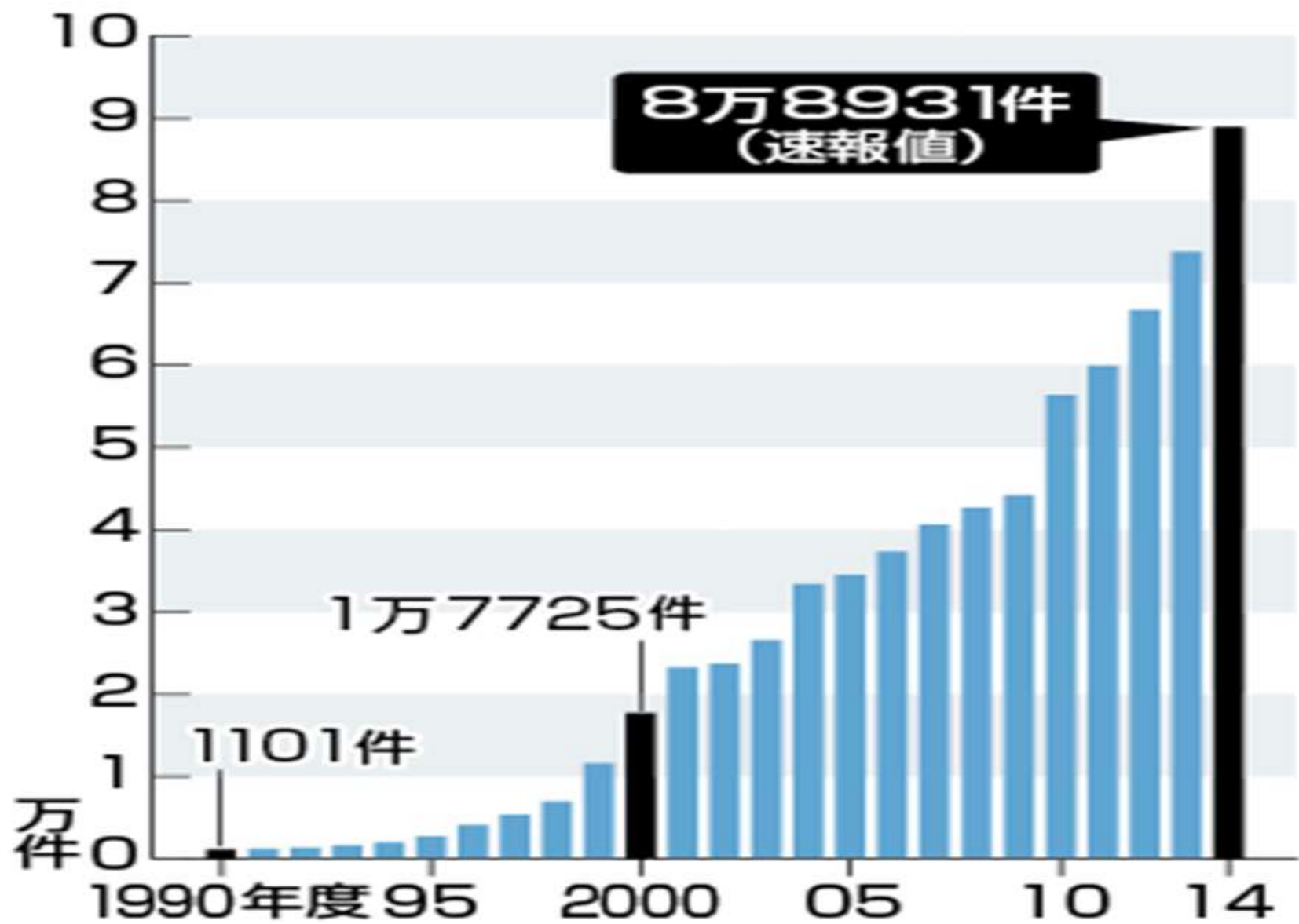
正解はE

一般刑法犯の認知件数は大幅に減っているが...

- すべてが減少しているわけではない
- 近年、件数が増えているのは？



いじめの発生件数(犯罪白書)



児童虐待件数の推移

2000年に比べ5倍増の約9万件

警察の手がおよびにくい犯罪とは

- 被害届が出にくい
- 被害者の社会的立場が弱い（子ども、高齢者）
- 被害者と同じ「**枠**」の中に、容疑者がいる
 - 学校：いじめ、校内暴力
 - 家庭：虐待（子ども、高齢者）、DV

「いじめ」や「虐待」事件は増加している

実際には、**事件がおもてに出やすくなった環境の変化**

虐待の種類

- 身体的虐待 対象に身体的暴力を加える
- 心理的虐待 対象に心理的暴力を加える
- 性的虐待 対象に性的暴力を加える
- ネグレクト（養育放棄・無視） 食事などを提供しない
- 経済的虐待（金銭的虐待） 対象に金銭を使わせない、あるいは勝手に使う

犯罪心理学検定第3問 虐待の中で最も多いのは？

- A 身体的虐待 対象に身体的暴力を加える
- B 心理的虐待 対象に心理的暴力を加える
- C 性的虐待 対象に性的暴力を加える
- D ネグレクト（養育放棄・無視）
食事などを提供しない

犯罪心理学検定第3問

虐待の中で最も多いのは？

A 身体的虐待 23,579

(35.3%)

B 心理的虐待 22,423

(33.6%)

C ネグレクト 19,250

犯罪心理学検定第4問 最も多い虐待の加害者は？

- A 実父
- B 実父以外の父
- C 実母
- D 実母以外の母
- E その他

犯罪心理学検定第 4 問

最も多い虐待の加害者は？

A	実父	1 9 , 3 1 1	(2 9 . 0 %)
B	実父以外の父	4 , 1 4 0	(6 . 2 %)
C	実母	3 8 , 2 2 4	(5 7 . 3 %)
D	実母以外の母	5 4 8	(0 . 8 %)
E	その他	4 , 4 8 8	(6 . 7 %)

2010年、大阪で発生した二児殺人事件（下村早苗事件）

マンションの一室に
3歳と1歳の子どもが置き去り
にされ、餓死した事件

元被告 下村早苗(当時23歳)

被害者 下村 楓(1歳) 桜子 (3歳)

下村早苗 生い立ち

- 1987年 三重県で三姉妹の長女として出生
父は四日市農芸高校教師で、有名なラグビー部監督
母は父の教え子
母の浮気が原因で離婚 父親に引き取られる
高校は父親の知り合いの教員がいる関東へ
高卒後、地元に戻り、割烹店に就職

下村早苗 の結婚生活

- 2006年12月、19才で、大学生だった男性とできちゃった婚
- 2007年 5月、20才で第一子（長女 桜子）を出産。
夫の実家で夫の両親と同居（後に近隣のアパートに転居）
夫は大学をやめて工場で期間工として働き始める
- 2008年 10月、2人目（長男 楓）を出産
- 2008年に二人目の子供が生まれた直後、
子供を家に置いて朝帰り、サラ金で借金、不倫

離婚後の生活

2009年 5月 不倫が原因で離婚。

子ども二人を、下村早苗が引き取る

- 桑名市の実母を頼るが、精神的に不安定なため、同居できない
- 実父もラグビー部監督で多忙なため子どもは見てくれない
- 元の夫およびその家族は全く頼れない

➡名古屋に出てキャバクラで働きながら育てる

名古屋での生活

- 子どもたちが次々に熱を出し、 医者に行くと「お母さんと離れたくないイヤイヤ病ではないか」
- 2009年10月、早苗が新型インフルエンザに罹患
子どもがインフルエンザで死亡するニュースを見て、
元の夫と実父に
「インフルエンザが治るまで子どもを預かって欲しい」
と助けを求める →どちらからも「仕事がある」と断わられた。

名古屋での生活

- 第二子の楓ちゃんの1歳の誕生日を祝いたい
→ 元の夫を動物園に誘ったが、断わられる
「元の夫は桜子や楓のことは、なかったことにしたいのかな」
と思った
誕生日の当日、誰からもお祝いのメールも電話もない
- 月末には職場を変わる
- 借金が返せなくなり、子どもを見てくれた友人とも疎遠に

名古屋から大阪へ

- 早苗が部屋に不在の時、桜子ちゃんが水道の蛇口をひねり、部屋の床を水浸しに→階下にも水漏れするほどの状態だったが、謝罪はおろか、家賃も払わないまま“夜逃げ”
- 父方の祖父母のいる大阪へ
- 2010年1月18日大阪の難波のヘルス店「リッチエレガンス」の面接を受け、採用される

事件に至るまでの生活

- 2010年1月風俗店が用意したマンションの一室（大阪市西区南堀江）で子ども二人と暮らし始める
 - 勤務は午後6時から午前0時
 - 初日だけは、託児所に子どもを預ける
- 迎えに行くと、長女が泣きながら抱きついてきた



それ以降は、託児所に預けることなく、**子どもを部屋に残したまま仕事へ通うようになる**

育児放棄

- 4月中旬から6月中旬まで水道の使用ゼロ
(風呂に入らず、おむつも替えない、水も飲んでない)
- ゴミは部屋から一度も出したことがない
- 時々、帰宅して、子どもに食事（菓子）
- 風俗店の店員、ホスト、美容室の店長、アパレル店員と交際し、あるいは四日市の妹方、須磨へ海水浴に出かけたりして、マンションに戻らず

事件に至る経緯

- **2010年6月9日**、子ども達に最後の食事
 - 部屋と玄関の間の戸に、**粘着テープ**と**南京錠**で施錠
 - 以前に子どもが部屋を水浸しにして遊び、下の部屋へ水漏れさせたり、屋外に出て警察に保護されたりした
 - 不在中は子供達が部屋の外へは出られないように
 - 猛暑の時期だがエアコンがなく、冷蔵庫も空
 - 子ども達は「汗をなめ、尿を飲み、便を食べていた」と精神科医が推察

事件に至る経緯

6月20日 通報女性が子どもの声を聞く

6月25日 近所の女性が泣き声を聞く

(これが最後で、この頃に死亡か)

7月30日「異臭がする」との店へ連絡があり、早苗が帰宅して死体を発見するが、どうして良いか分からず立ち去る。その後、警察が、餓死した二人を発見。

子供達は裸で、遺体は腐敗し、一部が白骨化。段ボール10箱分のゴミに囲まれ、折り重なるように亡くなっていた。

犯罪心理学検定第5問 この事件で子ども二人を死亡させた下村早苗に言い渡された判決は？

A 死刑

B 無期懲役

C 懲役30年

D 懲役15年

E 懲役2年 執行猶予5年

第一審の裁判の結果

- 検察側：「被告は子供に食事を与えず、部屋の扉に粘着テープを貼って閉じこめ、約50日間帰宅しなかった」被告に**殺意ありと無期懲役を求刑**
- 弁護側：「被告は幼いころに受けた育児放棄などで解離性障害があり、恐怖を無意識に避ける特殊な心理状態にあって死ぬことに意識が働かなかった」と反論。殺意はなく、**保護責任者遺棄致死罪**にとどまると主張
 - 第一審は殺意を認定し、懲役30年

裁判の結果

- 第二審：「長女らが死に至ることを認識」し、「積極的に殺害を意図したのではなく、死んでもやむを得ないという**未必の殺意**であって、刑法上の殺意は否定されない」
- 最高裁は2013年3月25日、
上告棄却(懲役30年が確定)

犯罪心理学検定第5問 この事件で子ども二人を死亡させた下村早苗に言い渡された判決は？

A 死刑

B 無期懲役

C 懲役30年

D 懲役15年

E 懲役2年 執行猶予5年

懲役30年は有期の懲役刑としては
日本で最長
事件当時は23歳
満期出所して
くれば53歳？

事件の起きた理由：誰にも頼れない状況

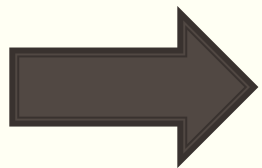
- 早苗がインフルエンザにかかった時に子どもを預かることを断られて以降、父親には連絡をしていない
- 「元の夫は桜子や楓のことは、なかったことにしたいのかな」と思っていた
- 友達には、大阪のおばあちゃんや、四日市の妹に子どもを預けていると、うそをつく

- 「早苗はいつも自分を少し大きく見せる。中学時代からウソをつくので有名。ただ、人を陥れるようなウソではなく、**自分を盛る(よく見せる)**うそだった。」

- 下村早苗は子どもの頃に同じような体験があり、「自分には育てられない」といえない
 - 母親を、自ら、降りることはできない

虐待の有無を特定できない理由：誰が住んでいるか分からない

- 犯行現場となったマンションの**部屋の実際**
の所有者は60歳代の資産家夫妻
- 不動産業者に仲介依頼、風俗店グループ
の運営会社に**又貸し**
- 下村早苗は**住民登録せず**



303号室に本当に子どもがいるか、特定できず

児童虐待に関する法改正 1990年代に児童虐待が社会問題化

- 1994年 子どもの権利条約が批准
- 2000年 保護者による18歳未満の子どもへの身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4種類と定義し、禁止した。
- 2004年 虐待の確証がなくても疑われる場合には、**児童相談所などへ通報することが義務**
- 2008年 児童相談所の権限が強化され、立ち入り調査に親の同意が得られない場合、**裁判所の許可を得れば、強制的に立ち入りできる**

この事件で通報はなかったのか

- 3月30日 児童虐待ホットライン(大阪市こども相談センター)

「このマンションの303号室で、夜中にインターホンを使って、

『**ママー、ママー**』と**長時間**叫んでいる、子どもを置いて、働きに出ているのではないか？」と通報あり

児相の職員が西区の子育て支援室に連絡したが、住民登録無し

- 3月31日 午後3時 職員が訪問

オートロックのマンションの玄関で部屋番号を押しても返事無し

自転車置き場からベランダを見ても異常なし

職員が、日を変え、時刻を変え、何度も訪問

- 4月1日 午前10時 府の職員が玄関のインターホンを鳴らしても返答無し
- 4月2日 午後6時 職員が郵便受けからのぞいても子どもを発見できず
- 4月8日 午後8時20分 同じ女性から**2度目の通報**

通報してきた女性に対し、「あなたの連絡先を教えて欲しい」

「同じマンションにお住まいか教えていただけますか」

「それはちょっと困ります」と、通報者は名前を明かさない

- 4月 9日 午後2時 303号室へ職員が行くも、異常を発見できず
- 5月18日 午後5時半 **3度目の通報**あるも、子どもを発見できず

事件の起きた背景にあるもの

- ひとりの女性が3回も通報したが、他の通報がない
- 児童相談所の職員が地域の主任児童員に連絡
「何か聞いていることはないか」

しかし、マンション名や部屋番号を明らかにせず

→個人情報情報の保秘の必要性

過去に、通報された個人が特定されて噂になり、「おかげで住めなくなった」と、児相に怒鳴り込まれたことがある

- 風俗店の店員が自治会に入ることもない 自治会は口出しをできない

事件の起きた理由

- 下村早苗の父親、元の夫などが全く子どもの面倒を見ようとしなない
- マンションの一室が又貸しで、住んでいる人を特定できない(強制的に入る許可状をとれない)
- 通報者がひとりしかいないので、虐待のあった事実を把握できない→部屋に踏み込めない

強制立ち入りが困難

- 強制立ち入りは出頭要求に2回応じなかった場合などに、児童相談所が裁判所に許可状請求
- 出頭要求には保護者や子供の名前が必要だが、今回は分からず強制立ち入りできなかった。

3歳と1歳の子どもが50日置き去りにされると

警察に被害届が出せないばかりか

- 施錠されている部屋から外にも出れない
- 電話で助けも呼べない
- 食べるものがなくなると餓死するしかない



ということが分かっているのに家に帰らなかったから、
殺意(未必の故意) を認定

大都会の真ん中で、住民同士が互いに干渉しない

- マンションの近くは風俗店が多く、その寮として使われていると、住人の特定がむずかしい
- 地域の見守りで防げた事件かは微妙
- しかし、2児が真夏にエアコンもない部屋に50日間放置されて餓死した事件はあまりにも悲惨

この事件、西宮市なら防げたでしょうか

- 防犯関係者が頻繁に見回って
いればあるいは・・・？



振り込め詐欺の代表的手口 ＋ 特殊詐欺の新しい手口



最近の特殊詐欺（旧 振り込め詐欺）はどうなっているのか？

- 1年間の件数は？
- 被害金額は？
- どのような手口が増えているのか？

犯罪心理学検定 第6問 2014年の特殊詐欺被害金額は？

A 73億円

B 146億円

C 282億円

D 559億円

E 1010億円

犯罪心理学検定 第7問 特殊詐欺被害事件はどうか

- A 発生件数も、1年間の総被害金額も減少
- B 発生件数は増えているが、
1年間の総被害金額は減少
- C 発生件数は減っているが、
1年間の総被害金額は増加
- D 発生件数も、1年間の総被害金額も増加
- E 発生件数は横ばいだが、被害金額は減少

犯罪心理学検定 第8問 発生件数は減っているが、1年間の総被害金額は増加した理由は？

- A 犯人が大量に検挙されてしまったから
- B 犯人が家族関係の分かる名簿を手に入れにくくなったから
- C 犯人が所有者の不明の携帯電話を手に入れにくくなったから
- D 犯人が銀行振り込みが使いづらくなったから
- E 犯人がお年寄りがかわいそうと思うようになったから

名称の変遷

- かつては、「**オレオレ詐欺**」
- 2004年12月、警察庁が「**振り込め詐欺**」

オレオレ詐欺、架空請求、還付金詐欺、融資保証金詐欺

2012年以降、ATMを使わない手口が増え、
「**特殊詐欺**」と命名

特殊詐欺の件数と被害金額

特殊詐欺の被害 警察庁まとめ (万件)



件数(折れ線グラフ)は減っているが、被害金額(棒グラフ)は増えている

犯罪心理学検定 第6問 2014年の特殊詐欺被害金額は？

A 73億円

B 146億円

C 282億円

D 559億円

E 1010億円

犯罪心理学検定 第7問 特殊詐欺被害事件はどうか

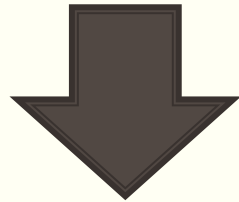
- A 発生件数も、1年間の総被害金額も減少
- B 発生件数は増えているが、1年間の総被害金額は減少
- C 発生件数は減っているが、1年間の総被害金額は増加
- D 発生件数も、1年間の総被害金額も増加
- E 発生件数は横ばいだが、被害金額は減少

犯罪心理学検定 第8問 発生件数は減っているが、1年間の総被害金額は増加した理由は？

- A 犯人が大量に検挙されてしまったから
- B 犯人が家族関係の分かる名簿を手に入れにくくなったから
- C 犯人が所有者の分からない携帯電話を手に入れにくくなったから
- D 犯人が銀行振込みが使いづらくなったから
- E 犯人がお年寄りがかawaiiそう思うようになったから

発生件数は減って、1年間の総被害金額は増加した理由

- 銀行振り込みの制限価格を設けた
- 銀行員による呼びかけ
- ATNコーナーで携帯電話が使えない



銀行振り込みが使いづらくなる

宅配便やレターパックで1千万円単位の現金を送る
現金を直接取りに行かせる

従来の4つの代表的な手口+金融商品のもうけ話→特殊詐欺

- オレオレ詐欺
- 架空請求
- 融資保証金詐欺
- 還付金詐欺
- 最近では以上に加えて、
3つの新たな手口

時間があれば、オレオレ詐欺のビデオを見せたいのですが

■所要時間11分

特殊詐欺検定 第9問 新たに増えた特殊詐欺の手口とは？

■最近の特殊詐欺のネタとは？

ア 未だ公開株の譲渡

イ 砂糖の先物取引

ウ 都心のマンション購入

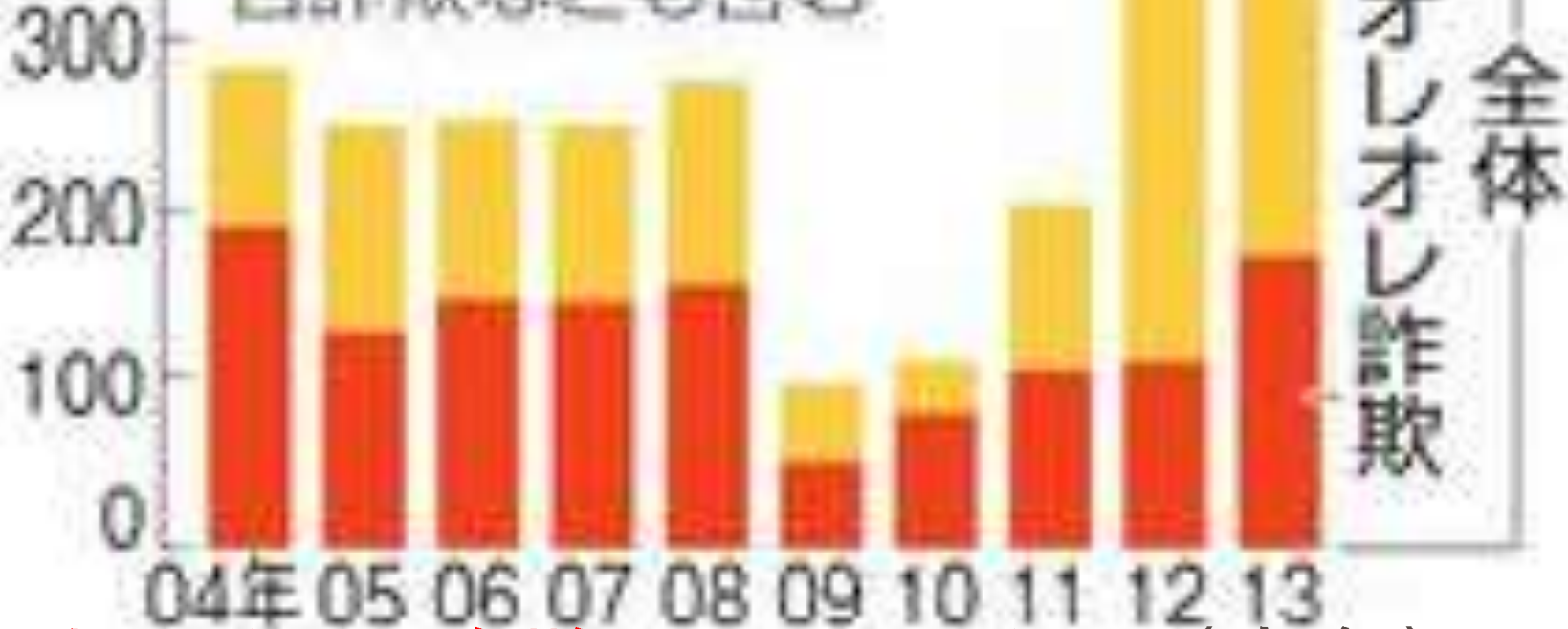
エ 健康食品の購入

オ 金の延べ板の売買

特殊詐欺の被害額

500 (億円)

警察庁まとめ。2010年
以降は金融商品取引名
目詐欺なども含む



赤が旧振り込め詐欺の4つの手口（赤色） <
最近の手口である金融商品の取引詐欺（黄色）

最近の手口の詳細はもうけ話

ダイレクトメール：「A社の株が今度、上場されるので、購入しませんか」が届く



その後、ある証券会社から、「あなたのところに、A社の株を購入できる **ダイレクトメール**は届いていませんか」という電話がかかってくる



「届いてますよ」と答えると



「おめでとうございます。あなたはとても運がいい」

金融商品詐欺 2

「A社の株は、今後間違いなく、値上がりするので、できるだけ買っておいってください」



「今は上場前なので1株500円位ですが、上場すれば、**何倍もの値段で売れる**はずですよ」



「少なくとも当社では、あなたがかった **3 倍の価格で引き取ります** **1千万円分をかっておけば 3 千万円になりますよ**」



1千万円を実際に集金にやってくるが、その後は連絡が取れなくなる

詐欺で使われる金融商品とは

- 実際にはほとんど価値がないか、架空の有価証券（社債や未公開株等）
 - 鉱物の採掘権などの権利関係
 - パソコンソフト、仏像、金、ダイヤモンド等の物品
 - 外国通貨、会員権、社員権
 - ① **ダイレクトメール**で商品広告を送りつけ、
 - ② **別の犯人が**、電話で「必ずもうかる」「3倍で買い取る」「あなたしか買えない」
- 2段階の仕掛けで、「転売すれば儲かる」**

金融商品取引以外の最近の手口

- ギャンブル必勝法を教える
- 異性交際の勧誘

最近の手口 2 ギャンブル必勝法

- 雑誌やインターネットのホームページ等に「パチンコ攻略法」の広告掲載、またはメール。

いい加減な攻略法等の虚偽の情報を提供

会員登録料や情報料等で現金を口座に振り込ませる。

最近の手口 2 ギャンブル必勝法

- 数字選択式宝くじ「ロト6」の当せん番号を教える詐欺
抽選日に、被害者に電話し、当選番号を教える
翌日の新聞を見て、当たり番号を確認し、被害者は信じ込む
(実際は抽選日に当選番号がネット公開されている)
次回の当せん番号の情報提供料としてお金を支払わせる

最近の手口 3 異性交際勧誘

雑誌やインターネットのホームページ等に、「女性紹介」の広告掲載（またはメール）

申込者には、実際に1度だけ、女性（サクラ）と会わせる
さらに、「相手の女性があなたとの交際を希望している」などと伝える

会員登録料金や保証金で現金を口座に振り込ませる。

被害金額は公表されている被害金額はほんの一部？

- 特殊詐欺に引っかかっても、
「騙された年寄りがバカ」

という羞恥の意識→

被害届を出さない

＊この傾向が、特殊詐欺を拡大させている
収入がなく年金生活のお年寄りが被害にあうと、悲惨な
状況（老後の貯金を奪われて、自殺するヒトも）

特殊詐欺を疑う要因

1. 年金が振り込まれる日前後の電話
2. 昼間の電話 午後2時前に振り込ませる
(2時を過ぎると口座に入るのは翌日になってしまう)
3. オレオレ詐欺を疑う要因
 - → 携帯が変わった
 - → 声がおかしい
 - 風邪を引いている
 - → 電話でいきなり高額な金の要求

特殊詐欺の被害に遭わないために（警察庁による）

- ・不審な電話がかかってきたり、面識のない人物が訪ねてきたりして、現金を要求されたら警察に相談する
- ・親族を名乗る人物から電話で現金を要求されたら、以前から使っている番号に電話して確認する
- ・株取引や社債購入の勧誘を受けたら家族に相談する。取引のために名義を貸すよう言われたら警察に相談する

特殊詐欺の被害に遭わないために（警察庁による）

- ・宅配便やレターパックで現金を送らない
- ・多額の引き出しや振り込みをする時は金融機関の職員のアドバイスに耳を傾ける
- ・親族の同僚や友人を名乗る人物が自宅や近所に来ても、面識がなければ現金や金融機関のカードを渡さない

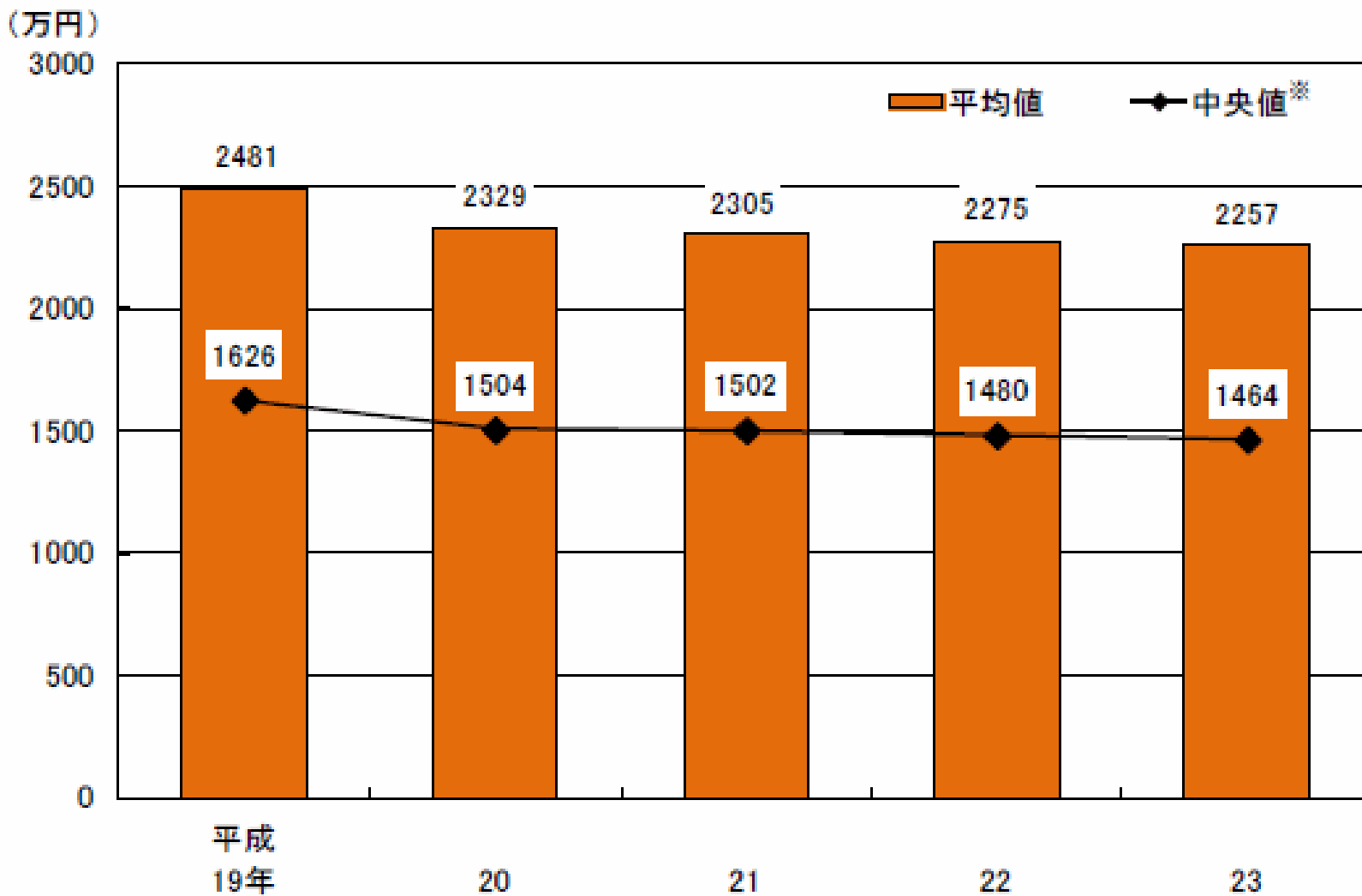
その他の効果的な対策は？

- 家族だけが分かり合い言葉を決めておく
- 高齢者は見知らぬ人からの電話には出ない
- きょう、多額のお金を要求され、きょう中に支払いが必要などと言うことは現実社会にはないということを認識する



特殊詐欺が起きる社会的背景

図 8 世帯主が高齢者の世帯の貯蓄現在高の推移
(平成 19 年～23 年；二人以上の世帯)



※ 中央値は、貯蓄現在高階級別の世帯分布から推計したものであり、貯蓄現在高が「0」の世帯も含めたものである。

高齢者の貯蓄
金額

1400万円から
2300万円

お年寄りが狙われる、特殊詐欺の社会的背景 1 お金は有るが、孤独

1. 貯金のあるお年寄り

子育て終了→大きな出費がなくなる

無駄なお金を使わず、節約上手で、それなりの貯金あり

2. 核家族化

家族が、別々に暮らし、独居老人増加

子ども・孫と交流が少ない→電話がかかってくると嬉しい→だまされやすい

3. 社会的支援の不足

退職や、配偶者、友人の死去などで相談相手がそばにいない

不安や孤独感を利用した詐欺に遭いやすい

- 特殊詐欺の被害に遭わないように、日頃から、声をかけ、注意を向けてもらう
- 独居老人をひとりにせず、相談相手になる
- 互いに言葉をかけあう、コミュニティ社会の形成があらゆる犯罪の発生を抑制

最近、気になることは

酒鬼薔薇聖斗の最近の行動

- 1997年5月24日 兵庫県神戸市須磨区で小学生を殺害
- 「酒鬼薔薇聖斗（さかきばらせいと）」名の犯行声明文
 - 第1事件 2月10日 小学生の女兒2人ショックレスハンマでーで殴り、ひとり重傷
 - 第2事件 3月16日 小学生女兒1名をげんのおで殴り、殺害
1名を刃物で刺し、2週間の怪我
- 6月28日 14歳の中学生を逮捕
- 10月13日 関東医療少年院送致
- 2004年3月10日 東北少年院（中等少年院）仮退院
- 2005年1月1日 本退院

心理学検定第10問 神戸連続児童殺傷事件の少年Aが出した本は

- A 絶美
- B 絶歌
- C 絶対
- D 絶好
- E 絶唱

神戸連続児童殺傷事件

- 「絶歌」の出版 3000万円の印税
- ホームページの立ち上げ

<http://www.sonzainotaerarenaitomeisa.biz/>

出版された本を見てもHPを見ても更生したとは思えない

心理学検定第10問 神戸連続児童殺傷事件の少年Aが出した本は

■A 絶美

■B 絶歌

■C 絶対

■D 絶好

■E 絶唱

犯罪心理学検定 70%正解なら合格

ご清聴有り難うございました